

— 想像と願望の美学、テクノオリエンタリズム再考

masia

ちかくて、とおくて、うつくし

九州大学大学院芸術工学府
アジア文化アートコレクション

阿南修平 石野通夢 石森菜々 大神康寛 河内拓海 下川潤大 高瀬雅 根尾瑛
橋口廉 宮崎陽大 村田匠 山田龍輝 藤羽軒 吉村修汰 山崎研

九州大学芸術工学図書館1F映像音響ラウンジ
2F展示ウィング/アクティビティウォール/アクティブラーニングコリドー

2024 12.10 (火) ▶ 2024 12.13 (金)

13:00 - 19:00 (最終日 13:00 - 18:00)

| 入場無料 | 主催：九州大学大学院芸術工学研究院 齋藤俊文研究室

想像と願望の美学、**テ**クノオリエンタリズム再考

Imasia

ちかくて、とおくて、うつくしい。

80年代、アジアを「異質で美しい場所」として解釈する『テクノオリエンタリズム』が、ヨーロッパを中心にファッションや映像の世界で取り入れられました。

当時の衣装や広告ビジュアルには、当時のヨーロッパのクリエイター達が考えるエキゾチックで神秘的なアジアへの視線が反映されており、独特の美が宿っています。

それらは、「きつとこうだろう」という想像や、「こうあってほしい」という願望からできた、「とおくのアジア」。

アジアに住む当事者の我々からすると、違和感のあるものに映るかもしれません。

しかし、誰も自分の顔を自分で直接見ることはできないように、アジアの魅力の全てを、アジアだけで捉えることは難しい。

だからこそ、「とおくのアジア」を見るのが、アジアの見えなかった一面に、知らなかったうつくしさに気づききっかけになるでしょう。



日時 | 2024年12月10日(火)～13日(金)
13時～19時(最終日は18時まで)

料金 | 無料

会場 | 九州大学芸術工学図書館
1F 映像音響ラウンジ | 2F 展示ウィング
/ アクティビティウォール / アクティブラーニングコリドー

企画制作 | 九州大学大学院芸術工学府アジア文化アートコレクティブ
阿南修平 石野遥夢 石森菜々 大神康資 河内拓海
下川創大 高瀬雅 根尾瑛 橋口廉 宮寄陽大
村田匠 山田龍輝 鄭羽軒 吉村修汰 雷囁妍

問い合わせ



E-mail : imasia.project@gmail.com
instagram @imasia_project

主催 九州大学大学院芸術工学研究院 齋藤俊文研究室

1.An CyberAsia
2.CyberAsia An 着用衣装
A.An "Lycoris" other cut 1
B.An "Lycoris" other cut 2



西鉄大橋駅より徒歩約5分